

News Release

2016年1月26日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2015年度「第三四半期(10-12月)」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2015年度「第三四半期(10-12月)」の受注実績を公表致します。

2015年度 第三四半期(10-12月)の概要

【概況】

第三四半期の受注額は3,891億円(前年度同期比97.1%)と前年同期比割れとなった。製造業が5四半期連続で前年同期比超えと堅調に推移、また、非製造業のうち、電力業が5四半期ぶりの前年同期比超えとなったものの外需が減少、全体を押し下げた。
(*以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は2,868億円(同107.5%)と、製造業、非製造業、官公需ともに増加し、前年同期比超えとなり、堅調を維持した。

- 製造業は644億円(同105.5%)となった。主要需要先でみると、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信が前年同期比2桁増となった。
- 非製造業は1,471億円(同104.5%)となった。運輸業・郵便業・通信業は減少したものの、大口需要先である電力業が5四半期ぶりに前年同期比超えとなり、全体を押し上げた。
- 官公需は全需要先において増加し711億円(同119.7%)となった。

■外需

外需は1,023億円(同76.4%)と、昨年、大口案件のあった遮断器、制御装置などの減少により前年同期比割れとなった。

【製品別動向】

- 発電機、交流電動機、変圧器は内需のうち、電力向けの増加が寄与し、前年同期比超えとなった。
- 遮断器は昨年の電力向けの水準が高かったことと、外需向けの減少により大幅な前年同期比割れとなった。
- 電力変換装置は好調に推移していた太陽光発電設備向けパワーコンディショナの減少が見られた。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

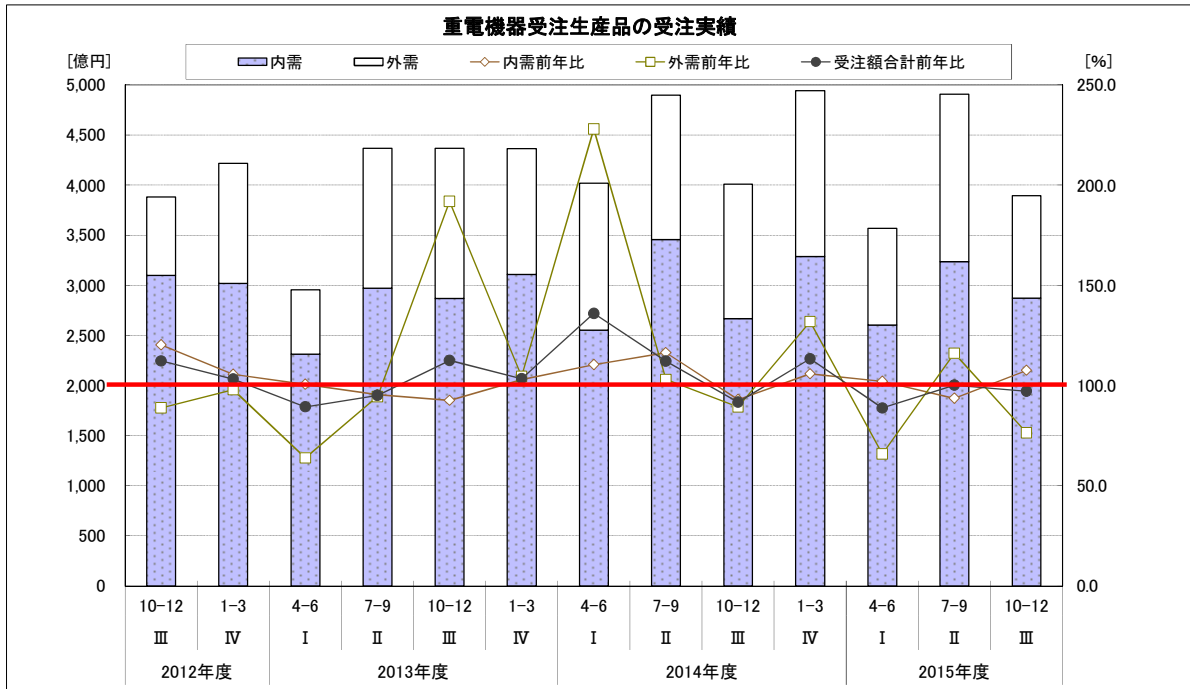
重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用できます。

■公表の形態

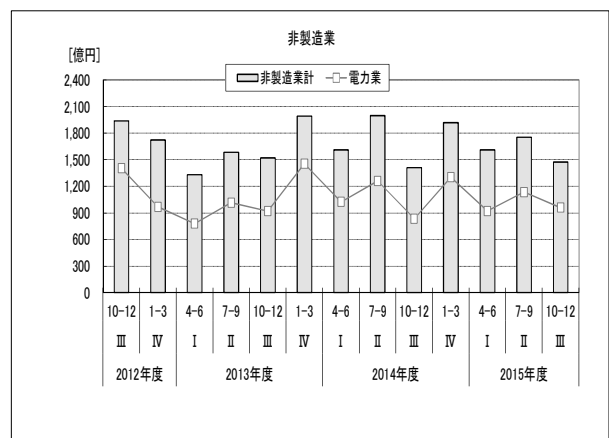
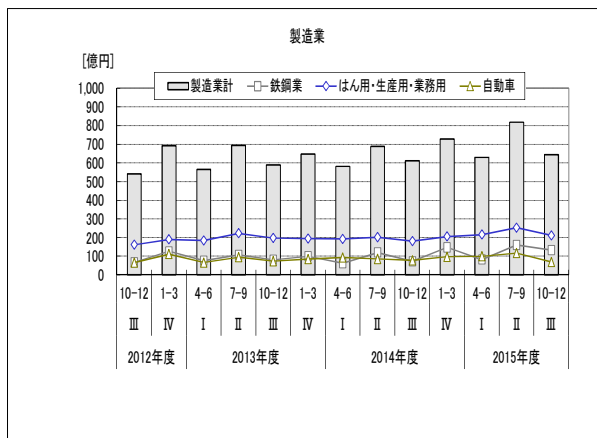
- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績：内需＋外需】



【内需内訳】



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL: 03-3556-5885

重電部調査統計課